

平成 29 年度

在宅医療・介護連携推進協議会

会 議 録

日時：29 年 7 月 6 日（木）午後 1 時 15 分～

会場：湖西市健康福祉センター3 階

研修室

1 出席者

出席委員

伊 藤 健 (浜名医師会)
牛 田 知 宏 (浜名医師会)
尾 崎 宏 嘉 (浜名歯科医師会)
塩 野 州 平 (浜松市薬剤師会)
内 山 大 輔 (介護老人福祉施設まんさくの里)
鈴 木 織 江 (浜名病院地域医療連携室)
夏 目 志津子 (市立湖西病院在宅支援室)
白 井 寿 子 (訪問看護ステーションはまな)
尾 崎 和 子 (湖西市訪問看護ステーション)
内 藤 加代子 (地域包括支援センター湖西白萩)
浅 井 恵 子 (ケアプランセンター陽菜)
稲 本 直 子 (サンシティーあらい)
欠席安 間 明 美 (湖西市社協介護センターこさい)

事務局

山 本 渉 (健康福祉部長)
和久田 勝 也 (健康増進課長)
佃 祐 子 (健康増進課 課長代理)
三 浦 祐 治 (長寿介護課長)
長 田 裕 二 (長寿介護課 課長代理)
琴 岡 文 乃 (長寿介護課 主査)

2 会議次第

- 1 開会 挨拶
- 2 委嘱状交付
- 3 委員挨拶 (事務局含む)
- 4 会長・副会長選出
- 5 議題
 - (1) 本会議の位置づけについて
 - (2) 在宅医療・介護連携推進事業の湖西市の現状と方向性
 - (3) 在宅利用・介護連携の課題
 - (4) その他
- 6 連絡事項
- 7 次回案内

3 会議内容（主旨記載） 午後 1 時 15 開会 午後 3 時閉会

1 開会あいさつ	健康福祉部長） 出席お礼。介護保険法改正と高齢化の進展に備えた地域包括ケアシステム構築が求められている。その柱の一つであるのが当事業となる。当会議は本年 1 月開催し意見をいただいた。それを踏まえ当協議会を実務者中心会議として位置付け開催。 意見いただき話しあい共有し課題解決に向けて意見提案をいただきたい。
2 委嘱状交付	委員・事務局自己紹介
3 委員挨拶	会長：伊藤医師 、副会長：尾崎歯科医師
4 会長副会長選出	
5 議事	（事務局説明 別紙 1 参考）
（1）本会議位置づけ	<p>牛田委員）団体の長で決められない事項、話し合っているうちに実務では決められない事項が出てきた場合は上の会議「地域包括ケアシステム推進会議（以下 A 層会議）」に仰ぐ等の考え方でよいか。</p> <p>三浦課長）単独で判断できないようなことが出てくれば A 層会議に判断を仰ぐこともある。その会議で意見がまとめらる内容であればまとめた上での報告も可能。良し悪しの判断を仰ぐことも可能。ただ回数は当会議が多くなるため進行を早くするとなればその時検討したい。体系は作成したが臨機応変に対応したい。すべて A 層会議で決めるものではない。開催してみて調整はある。</p> <p>伊藤会長）紙面上最高会議的位置づけだが、状況で開催しないこともあるのか？</p> <p>三浦課長）開催はする。各事業の報告や目指す方向性を A 層会議で報告等行う。反対に各実務会議へ A 層会議の報告をすることもあり得る。</p>
（2）事業の湖西市現状と方向性	<p>（事務局説明 別紙 2 参考）</p> <p>伊藤会長）意見あるか？ オについて特に意見はあるか？浜松は医療センターにおいでいる。湖西につくるとしたらどこがいい等意見はあるか。</p> <p>牛田委員）浜松市のように市の職員が入る等可能性はあるか？</p> <p>担当琴岡）現時点では委託で湖西市は考えている。H29.1 時点で 14 の市町に設置されているが内 10 が委託の現状。</p> <p>牛田委員）委託はいいが丸投げは問題。委託先が困ると思う。</p> <p>担当琴岡）市も注意する。委託元として責任はある。</p> <p>長田代理）浜松市の設置について補足。浜松市が医療センターに委託している。市の職員は出向で 1 名。直営ではない。医師については副センター長が非常勤で勤められているとのこと。</p> <p>伊藤会長）少なからず平成 30 年度には設置につきこの会議で責任の投げ合いでなく、協力してより理解できるようなセンター設置を目指していくように。</p> <p>夏目委員）オのセンターについて湖西病院として検討はしている。国で推進している事なので公立病院としての立場でも考えている。しかし線引きが難しい。病院職員としての立場現時点業務との線引きが難しい。話し合い考える時間がほしい。</p> <p>連携については、大切さは理解しているが、立場ごとで意見が違ってくる。連携は本音で</p>

<p>(3) 連携課題</p>	<p>話せ「こういう風にしてもらえると助かる」等言い合える関係性をつくれることが大切だと思う。</p> <p>伊藤会長) オのセンターについては“コンパクトにわかりやすく”「こういうのをやるところ」だよという説明があればもう少し委託も重くもらえずになれるかなと。簡潔にセンターは“これとこれをやるところ”を示すとよい。</p> <p>長田代理) (事務局説明) 昨年書面提出いただいたものと聞き取りのものを職種別にまとめたもの。すぐ取り組むべきこと・重点で取り組むこと等優先順位検討を事前に依頼。検討していただきたい。</p> <p>伊藤会長) 職種ごと、優先的にやる項目を一つ二つ順番に意見を。</p> <p>牛田委員) 医師側としては情報がない診たことのない患者に抵抗がある。指示通らない問題や資材供給の問題・診療点数知識問題・経済的問題等クリアしないと在宅医増は困難と感じる。情報共有の問題があるが、シズケアを徐々に広めることが、診療中連絡や医師への連絡敷居を下げることにつながる。支えあい手帳も医師間で広める努力しているところ。医師に使いにくくても職種共通として使えるものである。連携のためには「情報ツール（シズケア）普及」と「在宅医療周辺の課題整理（在宅医増のため）」。</p> <p>尾崎宏委員) 顔の見える関係づくりから。</p> <p>塩野委員) 服薬管理できていない・入退院情報が入らない等問題ではつなげる先がわからない状況。訪問する薬剤師が少ないことも課題。訪問の勉強会もしている。在宅医療材料の問題は薬剤師会で検討対応中。やはり連携には「共有ツール」が大事。薬剤師会内は加入し、薬職種間で連絡活用している。</p> <p>尾崎和委員) 末期患者依頼等急にくる。情報不足の場合が多い現状と市外からの問い合わせ時に資源の対応が困難。「在宅医・在宅医療可能内容一覧」があるとよい。</p> <p>浅井委員) 医師とのやりとりは昔よりはF a x等で可能にはなったが情報のやり取りがまだ困難さを感じる。特に在宅支えるCMは「医療との関係が非常に強く大事」個々の連携を取りたい。「在宅を支えるためには医療とのつながりが重要で大事」ここを議論重ねたい。</p> <p>伊藤会長) CMに医療系CMと福祉系CMが出てきており、福祉系CMが多くなってきた。CMの質の問題もあるが人材育成も大事。全体に看取る力を上げるには医療の存在と連携が大事。</p> <p>内藤委員) 包括は生活を支えるすべての窓口。様々な問題ケースがある（緊急、ターミナル、未受診、精神）医療機関受診時がスムーズにいかない現状やターミナル等状況に応じた課題がある。CMにて入院情報提供書を作成した。共通書式として病院へ情報を上げることができている。</p> <p>内山委員) 退院時と在宅との状態違っている現状ある。まず職種間（病院リハと施設リハ）との情報共有問題がある。継続的にリハを続けるためにやはり「情報提供とツール」が大事。認知リハも行っているが早期介入が大事。そのため在宅関わる方等地域への情報提供が必要。</p> <p>夏目委員) 共通書式の入院情報提供書は活用されているお礼。在宅希望がある方には希望に沿うようにしたいが、院内医療職内でも在宅への理解不足ある現状ある。まず「院内連携不足（在宅医療への理解）」と「病院職と在宅職の顔合わせ等多職種を知る機会（話せる場を設</p>
-----------------	--

	<p>けてほしい)」が課題。在宅に移るに当たり在宅情報が少ない「在宅医療一覧」等の具体的資源一覧必要。(今は口頭で知る現状。浜松のマップ参考ほしい)。施設によつての医療対応を統一できないものか。</p> <p>鈴木委員) 夏目委員とはほぼ同じ。在宅医療を支える後方病院として浜名病院があるのでお役にたてる。お薬手帳の活用も院内で報告し共有したい。入院情報提供書役立っている。情報を提供する際どうしても病院基準なので、在宅でほしい情報等「退院する際の共有情報提供書」作成するとよいか。</p> <p>伊藤会長) (本日欠席の事業所課題読み上げ)</p> <p>多く意見をきけた。優先順位としては「状況共有システム利用促進」「様式統一(退院等)」がまず大事で取り組めることではないか。</p> <p>(4) その他</p> <p>牛田委員) 多職種連携研修会予定</p> <p>塩野委員) 開催日 10/19 湖西病院講堂 20:00 案内は後日</p> <p>伊藤会長) 症例募集。訪問看護・病院等から一つ二つだしカンファレンスしたい。顔の見える関係の研修会にしたい。</p> <p>内山委員) 昨年度まで研修会等医師会主催で行っていた。以前リハの講師頼まれたが日時合わず流れていた。今年はどこが主催か。</p> <p>伊藤会長) 医師会委託三師会にて実施。10月症例カンファ、2月位に講演会実施予定 募集する。本日の第1回会議で課題等あがってきた。決まっていなかった連携センターも具体的にどういったことをやるのか具体的に決めてお願いする必要がある。将来的には課題もたくさん上がり、ICTで当研修会案内等できたらよいと思う。以上で議題終了する。</p>
<p>6 連絡事項</p> <p>7 次回案内</p>	<p>担当琴岡) アンケート依頼説明 別紙のとおり</p> <p>長田代理) 次回案内 予定記載あり。伊藤会長と相談し次回開催予定する。</p> <p>内藤委員) 当協議会内容を職種会議等で伝達してよいか。</p> <p>長田代理) 伝達をぜひお願いしたい。</p> <p>鈴木委員) 議事録はもらえるか。</p> <p>長田代理) 時間はかかるが記録という形で用意する。今後とも協力いただきながら連携を進めたい。</p> <p>閉会</p>